

インド
ポピュラー・アートの世界
~近代西欧との出会いと展開 関連企画
国立民族学博物館企画展



国際研究フォーラム

近現代インドにおけるナショナリズムと大衆文化

*Nationalism and Popular Culture
in Modern and Contemporary India*

Jyotindra Jain

(インド視覚文化センター所長)

Christopher Pinney

(ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン教授)

中村忠男

(立命館大学文学部 准教授)

発表及びディスカッションは全て英語です。通訳なし。



写真提供: 福内千絵
資料提供: Jyotindra Jain

11月5日 **土** 午後1時30分~

国立民族学博物館 2階 第3セミナー室

入場無料

※ 国立民族学博物館にお出でになる際、万博記念公園内を通行される場合には、別途入料が必要です。

お問い合わせ

人間文化研究機構「現代インド地域研究」プログラム 国立民族学博物館拠点(MINDAS)事務局
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 Tel: 06-6876-2151(代表) E-mail: mindas@idc.minpaku.ac.jp

近現代インドにおけるナショナリズムと大衆文化

Nationalism and Popular Culture in Modern and Contemporary India

● 国立民族学博物館 国際研究フォーラム

11月5日 午後1時30分～
国立民族学博物館 2階 第3セミナー室

発表者プロフィール (順不同)

Jyotindra Jain

インド国立民族学博物館長、ジャワハール・ラール・ネルー大学美学部長、インディア・ガンディー国立芸術センター所長などを歴任。インド美術史を専攻、英文研究著書多数。インド近現代のポピュラー・アートにも早くから関心を寄せ、研究や展示を行っている。

Christopher Pinney

南アジアの芸術や視覚文化の美術史的、文化人類学的研究を専門とする。特にインドの写真や石版印刷に関してユニークな研究著書を多数発表している。主要著書に、Camera Indica: The Social Life of Indian Photographs (1997)、'Photos of Gods': The Printed Image and Political Struggle in India (2002) などがある。

中村忠男

インドの文化と政治に関する文化人類学的研究を精力的に展開。近年の主要研究テーマは、ヒンドゥー教巡礼の国際的拡散とインド性の形成である。主要著書に、「今日のヒンドゥー教とメディア・テクノロジー」、西川長夫・山口幸二・渡辺公三編、『アジアの他文化社会と国民国家』(1998年人文書院)所収がある。

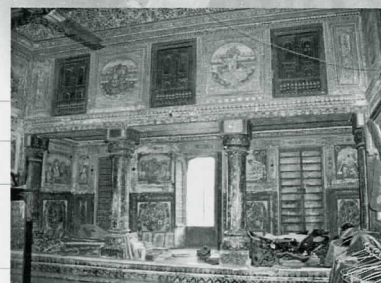
9月22日から国立民族学博物館で開催中の企画展「インドポピュラー・アートの世界～近代西欧との出会いと展開」の関連企画として、インドの大衆文化が近現代インドのナショナリズムの形成や発展に及ぼした影響をテーマに国際研究フォーラムを開催します。

インドでは19世紀後半以降、大量印刷技術や西欧風の絵画・写真技法などが導入されると宗教画を中心としたポピュラー・アートが大量に流布し、民衆の生活に浸透しました。これはヒンドゥー教文化の均質化の一因となり、勃興過程にあったヒンドゥー・ナショナリズムの基盤にもなったと考えられます。このように、大衆文化はナショナリズムと複雑な関係を保ってきたと言えます。

フォーラムでは、インドの大衆文化とナショナリズムの関係について研究を進めてきた研究者を招聘し、イメージのナショナリズムがいかにして成立・発展し、政治に影響を与えたのかについて討論します。また、現代インドにおける大衆文化とナショナリズムの現況についても報告を受け、独立運動期のインドと比較しつつ、デジタル時代の宗教ナショナリズムの特質や今後についても考察を加えます。

プログラム

13:00～	受け付け
13:30	開会あいさつ (三尾 稔 国立民族学博物館准教授)
13:40	中村忠男 (立命館大学文学部) “Hindu Pilgrimage and Formation of the New Body for God/Nation.”
14:30	Jyotindra Jain (Centre for Indian Visual Culture) “Indian Popular Visual Imagery: Curating Culture, Curating Territory.”
15:20	Christopher Pinney (University College London) “Gandhi, Camera, Action! Anna Hazare and the ‘Media Fold’ in Twenty-first Century India.”
16:10	討論 (司会 三尾 稔)
17:00	終了



写真提供：福内千絵 資料提供：Jyotindra Jain

お問い合わせ

人間文化研究機構「現代インド地域研究」プログラム 国立民族学博物館拠点(MINDAS)事務局
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 Tel: 06-6876-2151(代表) E-mail: mindas@idc.minpaku.ac.jp



交通のご案内

国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。「みんぱく」とは大学共同利用機関法人 人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

※ 国立民族学博物館にお出でになる際、万博記念公園内を通行される場合には、別途入園料が必要です。

- 大阪モノレール
[万博記念公園駅] 下車、徒歩約15分
[公園東口駅] 下車、徒歩約15分
([公園東口駅] からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。)
- バス
[近鉄バス] (阪大本部前行き) 阪急茨木市駅から約20分
JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
[阪急バス] (万博記念公園駅経由千里中央行き) 阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- タクシー
万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分
- 自動車
駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場(有料)をご利用願います。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分
※「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある国立民族学博物館専用通行口をお通りください。
交通案内: <http://www.minpaku.ac.jp/museum/information/access.html>